

上川崎公民館ふれあい学級

## 川崎小児童がしめ縄作り

12月18日、川崎小学校で児童19人が地域の高齢者からしめ縄作りを学びました。上川崎公民館のふれあい学級が、正月にちなんだ伝統行事に理解を深めてもらおうと毎年開催しています。児童たちはもち米の稲わらをよじり、しめ縄作りに挑戦しました。最初はなかなかうまくいかず苦労していた児童たちも、次第にコツをつかみ、1人でいくつものしめ縄を完成させていました。



稲わらのよじり方を学ぶ川崎小学校の児童たち

名目津温泉

## 来館者が25万人達成

平成22年7月1日にオープンした市内茂原地区の日帰り温泉施設「名目津温泉」の来館者が25万人を達成し、記念セレモニーが12月26日に行われました。25万人目の入場者となったのは、市内在住の武田千恵子さん(戸沢)。セレモニーでは市長から記念品が贈られました。武田さんは名目津温泉の常連で、「足が悪いのだが、名目津温泉で温まると痛みが和らいで良く眠ることができる」と話していました。



25万人目となった武田さん(左から3人目)

二本松城本丸跡や羽山山頂で迎えた  
初日の出

## 大勢の人たちと共に新年を迎える

平成31年が良い年になることを願い、霞ヶ城公園内の二本松城本丸跡や東和地区の羽山などで、多くの市民らがご来光を迎えました。本丸跡には例年以上の大勢の市民らが集まり、羽山山頂ではなめこ汁などが振る舞われました。元旦当日は天候に恵まれ、多くの方が新たな気持ちで新年を迎えることができた様子でした。



1・3\_ 二本松城本丸跡  
2\_羽山山頂



広瀬熊野神社 御田植

## 大豊作を祈る

1月3日、岩代地域上太田地区の広瀬熊野神社で御田植が執り行われました。御田植の神事は古式をほとんどそのままの形で残した、県内でも極めて価値が高く貴重な存在であるとして、福島県の重要無形民俗文化財に指定されています。気温が氷点下の中、氏子たちは農作業の衣服のまま、灯籠の薄明かりの下で、和やかな中にも厳粛に今年の豊年の予祝と作占いの神事を行いました。



作占いの神事の様子(写真右)

ざくざくカレー

## 二本松の郷土料理ざくざくのアレンジ献立

二本松市東部学校給食センターでは、1月10日の学校給食に、郷土料理のざくざくをアレンジした「ざくざくカレー」を提供しました。4種類のルウをブレンドしたコク深いカレーには、ざくざくと同様に、さいの目状のダイコン、ニンジン、コンニャク、ゴボウなどの具材がたっぷりと入っています。児童たちは、「すごくおいしい」「こんにゃくの食感が面白くておいしい」などと話し大好評で、あっという間にぺろりと平らげていました。郷土料理を使用した給食により、地元への理解を深めていくことが期待されます。



ざくざくカレー(写真左下)とざくざくカレーを頬張る東和小2年の児童たち。おいしい給食に笑顔がふれる。



七福神舞で、来場者へまき餅をする様子

第14回ふるさと芸能祭

## 受け継がれし伝統芸能を今に伝える

1月13日、旧鈴石小学校跡にある地域文化伝承館にて「第14回ふるさと芸能祭」が行われました。石井地区では新年を迎える恒例行事となった芸能祭。会場では五穀豊穡を祈る「石井の七福神と田植え踊り(国指定重要無形民俗文化財)」や、まき餅が振る舞われる「<sup>だいたい</sup>太々神楽」など18演目が披露され、来場者は、普段なかなか見ることのできない伝統芸能を堪能しました。また会場では、豚汁や焼きそばなどの出店も並び、多くの人でにぎわいました。



委嘱状を手にする寺澤さん(写真左)と三保市長

地域おこし協力隊に委嘱状

## 若い力で上川崎和紙を伝承

1月15日、主に道の駅安達上り線にある和紙伝承館で、地域おこし協力隊員として活動する寺澤伸也さんへの委嘱状交付式が行われました。寺澤さんは郡山市の出身で、大学を卒業後、福島県内や東京都内で勤務していましたが、東日本大震災後、「福島のために自分に何かできることはないのか」と考えていたところ、地域おこし協力隊の応募を目にし、今回Uターンで協力隊に応募されました。寺澤さんは今後、和紙漉きや楮栽培の技術を学びながら、上川崎和紙を伝承していきます。